ＧＲＯＭ用　ＦＩコン２　取扱説明書

商品番号：０５－０４－００１６
適応車種
ＨＯＮＤＡ
ＧＲＯＭ（ＪＣ６１－１０００００１～）

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特　徴～

○非常にコンパクトなボディながら、弊社製エンジンパーツに合わせてセッティング済みの３次元補正マップを各種内蔵しており、エンジン仕様に合わせたセッティングをＦＩコン２本体のロータリースイッチだけで設定可能です。設定変更の際にパソコンなどは一切必要ありません。
○内蔵の補正マップを全体的に濃い目・薄い目に本体のロータリースイッチで微調整出来る機能も備えております。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
◎日本仕様として正規販売されている　ＧＲＯＭ（ＪＣ６１）でのみ動作確認をしております。
　ＭＳＸ１２５等の並行輸入車への対応につきましては、弊社では分かりかねます。

☆ご使用にあたっての注意点☆

◎併用出来ない部品について。
　社外品のＨ.Ｉ.Ｄ.キットはバラスト／インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので、絶対に同時装着しないで下さい。
　社外品の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う、放射ノイズの増大により誤動作や製品故障の原因となりますので使用しないで下さい。
　社外品の発電装置は発電量の不足や電圧波形の違いにより故障の原因となりますので、使用しないで下さい。

◎本製品は防水・防滴構造ではありません。
　本製品は防水・防滴構造ではありませんので、雨や水がかかると、本体内に水が浸入し故障する可能性があります。
　洗車時も同様にご注意下さい。本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。
　又、付属のスイッチ部分が透明のパネルを使用する際、湿度が高い時や急激な温度変化があった場合などに、本体が湿気を吸い込み、パネルの透明部分に曇りが発生する事があります。
◎本製品のボディーは樹脂製です。
　劣化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけて下さい。炎天下の中など過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。
◎絶対に分解しないで下さい。
　大変危険ですので分解や改造を行わないで下さい。又、お客様で分解された場合、点検や修理をお受けする事が出来なくなりますのでご注意下さい。
◎激しい衝撃を与えないで下さい。
　本製品に強い衝撃が伝わる事は行わないで下さい。
　衝撃により内部部品の脱落や断線による修理不能な故障や、本体ケース破損の恐れがあります。
◎お手入れについて
　頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。
　揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドを使用すると、樹脂部分の変質の恐れや、パネルが曇ってしまいますのでご注意下さい。

⚠注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

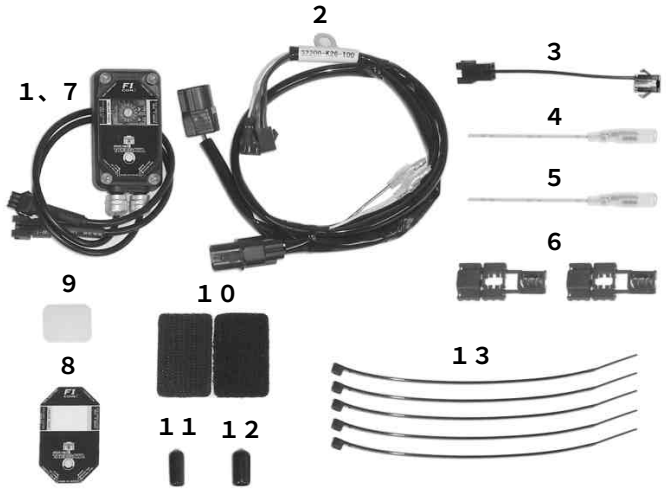
・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

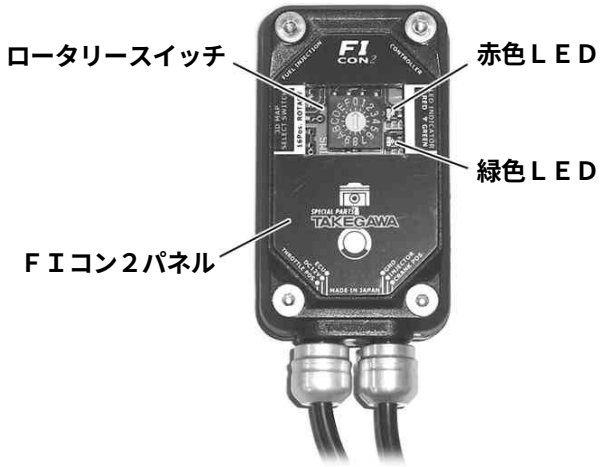
～商　品　内　容～



番号	商品内容	数量	リペア品番	入数
１	ＦＩコン２　Ａｓｓｙ.	１	―――――	
２	ハーネスＣｏｍｐ.	１	３２２００－Ｋ２６－Ｔ００	１
３	レストアハーネスＣｏｍｐ.	１	３８７７２－ＦＣ３－Ｔ００	１
４	サブコード（青／黄コード）	１	３２２３１－ＫＷＮ－Ｔ００	１
５	サブコード（黄コード）	１	３２２３２－ＫＹＪ－Ｔ００	１
６	エレクトロタップ	２	００－０５－００１５	５
７	ＦＩコン２　パネル（スイッチ部　穴開き）	１※	３８７７５－ＦＣ３－Ｔ００	１
８	ＦＩコン２　パネル（スイッチ部　透明）	１		
９	ラバーキャップ	１	００－０５－００４５	１
１０	マジックテープセット	１	００－００－０１５０	１
１１	キャップ　φ６	１	００－００－０４８１	１
１２	キャップ　φ７.５	１	００－００－０４８２	１
１３	タイラップ　１５０mm	５	００－００－０１３５	１０

※７．ＦＩコン２　パネル（スイッチ部　穴開き）は、１．ＦＩコン２　Ａｓｓｙ.に出荷時貼り付け済みです。
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～各　部　名　称～



Nov./29/ 13

～取　り　付　け　要　領～

●はじめに

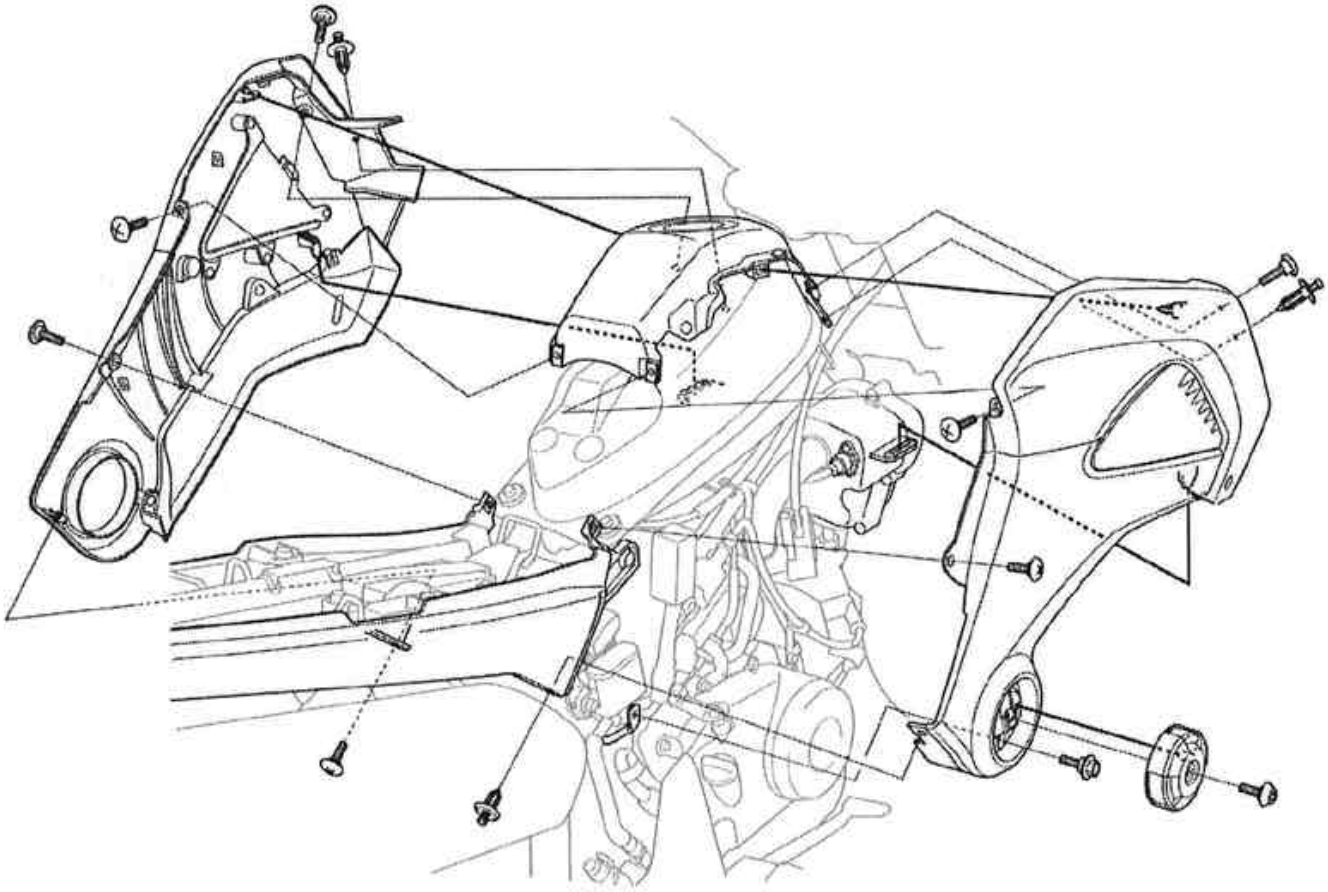
本製品は、純正のＰＧＭ－ＦＩシステムが問題なく作動している事を前提として開発されています。
ＰＧＭ－ＦＩシステム自体にトラブルや不調がある場合は、本製品を取り付けても正しく作動しなかったり、性能が発揮できないばかりでなく、本製品をはじめ他の箇所が故障する原因にもなりかねませんので、必ずＰＧＭ－ＦＩシステムにトラブルが無い事をご確認頂いた上で、取り付け・使用して下さい。

また、作業は水平で安全な場所でメンテナンススタンド等を用いて、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

●外装部品などの取り外し

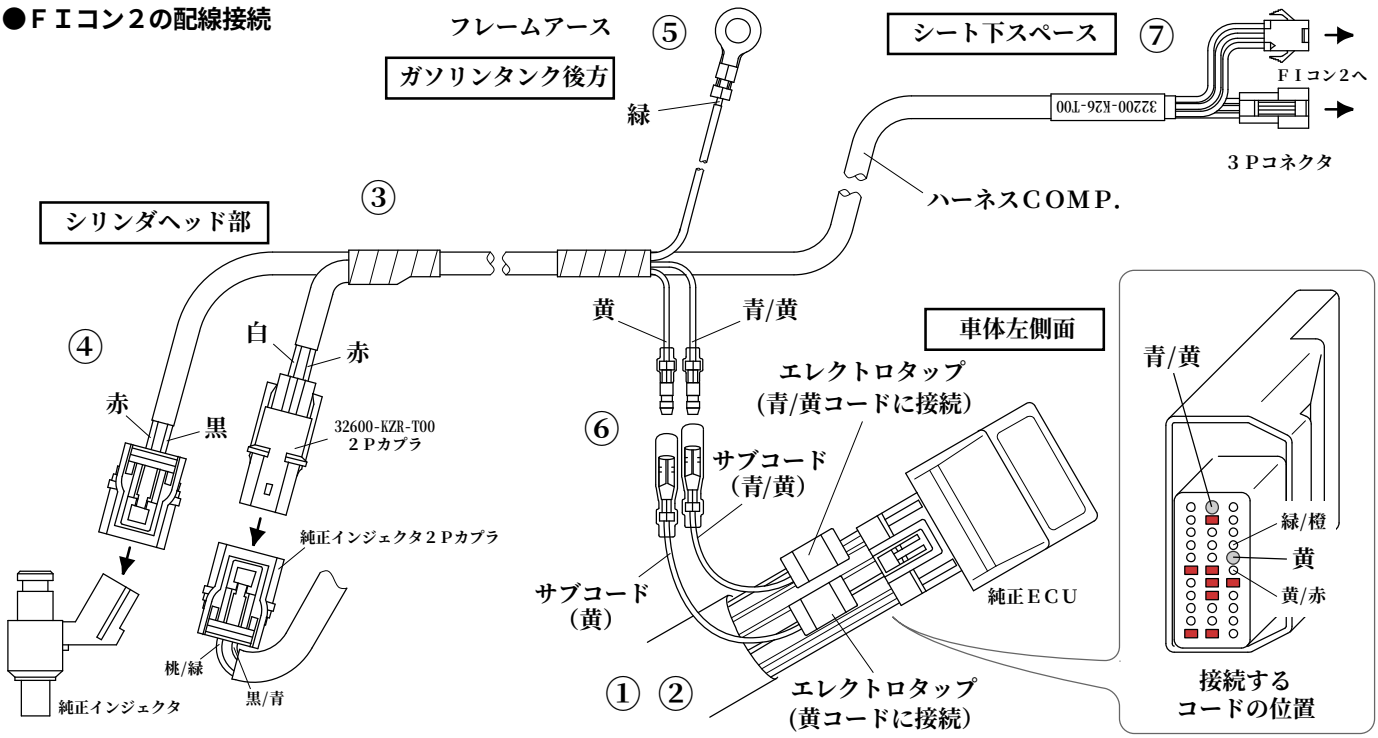
⚠ 注意：本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順に従い作業を行って下さい。
またカバー類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

１．純正サービスマニュアルを参照し、左右シュラウドを取り外します。



２．バッテリー　マイナス端子の接続を外しておきます。

●ＦＩコン２の配線接続

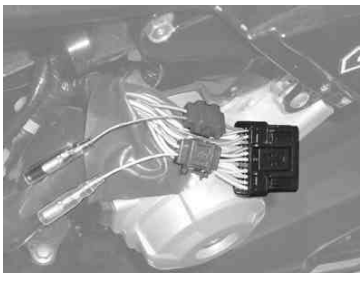


図中番号の順に、注釈を確認しながら作業を行って下さい。

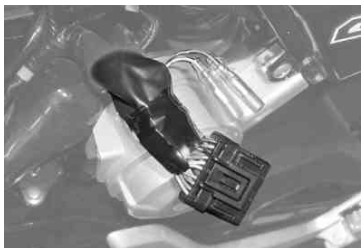
⚠注意：本取扱説明書中のコード色表記は、ベース色／ライン色としています。青／黄という表記のコードは、青色の被覆に黄色のラインが入っているコードを示します。

①純正ＥＣＵに接続されているメインハーネスのコネクタを抜き、メインハーネスのカバーを開いて、キット付属の サブコード２本（青／黄コード）（黄コード） を、メインハーネスの同色コードにそれぞれエレクトロタップで接続します。

⚠注意：メインハーネスには黄色のコードが２本あります。
必ず緑／橙コードと、黄／赤コードの間にある黄色のコードに接続して下さい。



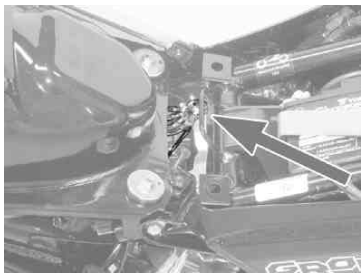
②メインハーネスに取り付けたエレクトロタップがなるべく隠れるように純正のハーネスカバーでカバーし、純正ＥＣＵにコネクタを元通り確実に接続します。



③キット付属のハーネスＣｏｍｐ.２Ｐコネクタ２種類が純正のインジェクタコネクタに接続出来るようにし、車体左側面のメインハーネスと共に車両後方へ這わせます。

④純正インジェクタ２Ｐカプラを外し、ハーネスＣｏｍｐ.の２Ｐカプラ（３２６００－ＫＺＲ－Ｔ００と刻印されている物）に接続します。
ハーネスＣｏｍｐ.の２Ｐカプラ（赤・黒コードが出ている物）を、純正インジェクタに接続します。

⑤フレームアース用丸アース端子を、ガソリンタンク後方の純正アースポイントに共締めします。



⑥ハーネスＣｏｍｐ.の青／黄コード及び黄色コードのオスギボシ端子を、最初にエレクトロタップでメインハーネスに取付したサブコードに、同じ色同士を接続します。

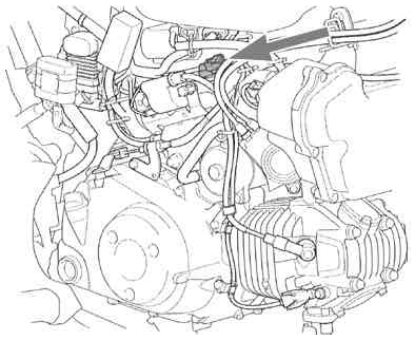
⑦ハーネスＣｏｍｐ.の３Ｐコネクタ２種類が付いている部分を、純正ＥＣＵの上あたりからシート下のバッテリー横まで通します。

⑧ＦＩコン２ Ａｓｓｙ.から出ている３Ｐコネクタと、ハーネスＣｏｍｐ.の３Ｐコネクタをそれぞれ接続します。

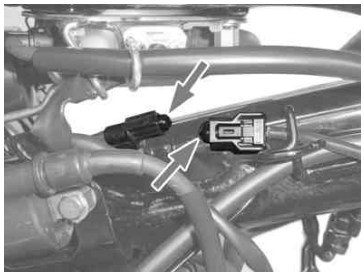
⚠注意：シート装着時にハーネス類を挟み込まないように、取り回しには注意して下さい。

接続が終わりましたら、配線に間違いが無いか確認し、問題なければバッテリーのマイナス端子を接続します。

●O_2センサカプラの取り外し



ＦＩコン２使用時は、純正のO_2センサーフィードバック制御を使用しませんので、O_2センサカプラの接続を外します。



車両右側面、イグニッションコイルの奥にあるO_2センサ１Ｐカプラの接続を外し、キット付属のキャップφ６（小さい方）をメインハーネス側に、キャップφ７.５（大きい方）をO_2センサ側のカプラに挿入して下さい。

⚠注意：O_2センサを接続したまま使用すると、ＦＩコン２本来のセッティングが出ない原因となりますので、必ず１Ｐカプラの接続を外してご使用下さい。
O_2センサを外している事により、純正ＥＣＵが『O_2センサ異常』としてエンジンチェックランプを点灯させる事がありますが、“O_2センサの異常時"の作動についてメーカー純正サービスマニュアルを参照すると、『O_2センサ異常時→通常動作と変わらず』 となっておりますので、ＦＩコン２使用時はそのままご使用下さい。
（一度キーＯＦＦにし、再始動しなおせばエンジンチェックランプの点灯は消えます）
但し、頻繁に点灯する場合は、O_2センサ異常以外の可能性もありますので、各部の点検を行って下さい。

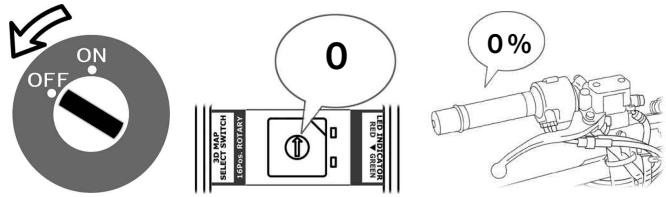
●ＦＩコン２の使用方法･セッティングについて

⚠重要：ＦＩコン２は初期設定が必要です。
初期設定を行わなければエンジンを始動する事は出来ません。
⚠注意：ロータリースイッチは、中心部の矢印が指し示す数字もしくはアルファベットが設定値となります。
１６進数表記となっていますので、“Ａ"は１０“Ｆ"は１５相当となります。

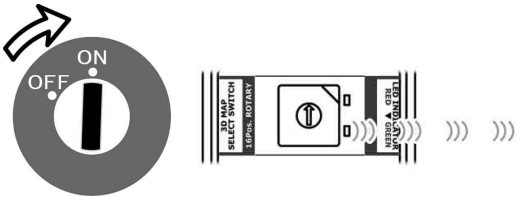
・スロットルポジションセンサー／ＭＡＰ種類選択の初期設定

車両にＦＩコン２を取り付けた初回や、スロットルボディのストッパースクリュー（全閉位置を調整するスクリュー）を調整した場合など、スロットルポジションセンサーの学習が必要になります。
また、エンジン仕様を変更したりして使用するＭＡＰを変更する場合も、下記手順に従って学習作業を行って下さい。

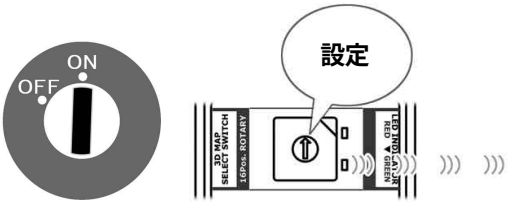
１．キーをＯＦＦにし、ロータリースイッチを“０"に設定します。
スロットルグリップは全閉状態にしておいて下さい。



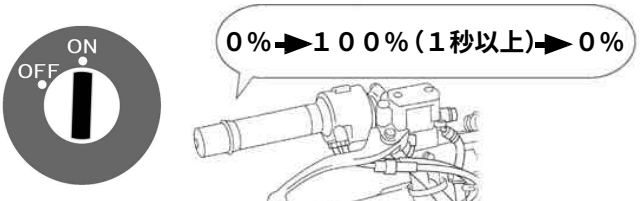
２．キーをＯＮにします。赤と緑のＬＥＤが同時に点灯し、赤ＬＥＤが３回点滅した後、赤・緑ともに消灯します。
その後、緑ＬＥＤが点滅し始めます。



３．この状態のまま、エンジン仕様に合わせた ＳＷ番号※ にロータリースイッチを設定します。
※本取扱説明書Ｐ.６『エンジン仕様別ＭＡＰ選択表』をご参照下さい。



４．スロットルグリップをゆっくりと全開にし、１秒以上全開のまま保持した後、ゆっくりと全閉に戻します。

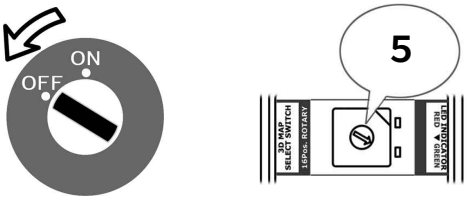


５．全閉に戻すと緑ＬＥＤの点滅が止まり、消灯したままになります。
緑ＬＥＤの点滅が消灯になった段階で、各車両ごとのスロットルポジションセンサー全閉・全開位置の学習と、ＭＡＰ種類の選択が、ＦＩコン２の内部メモリーに正常に学習されました。
（再度、初期設定を行わない限り、キーＯＦＦにしたりバッテリーを外しても、学習内容は消えません。）

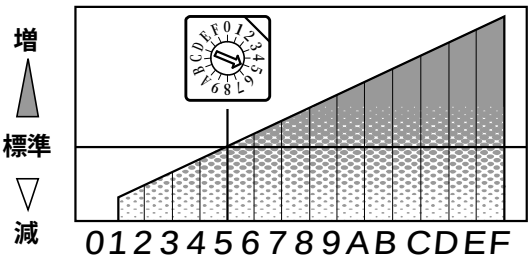
⚠注意：スロットルグリップを全閉に戻した際に、緑ＬＥＤの点滅が止まらず点滅し続ける場合は、全開のまま保持する時間が短かったか、サブコード（黄）の接続不良が考えられます。

６．キーをＯＦＦにし、ロータリースイッチを“５"に設定します。

⚠注意：ＦＩコン２のロータリースイッチは、ＭＡＰ選択・学習後は補正値の増減調整の機能となります。
初期学習後、まずは“５"（標準設定）に設定して下さい。



・ＭＡＰの増減微調整の設定



ＦＩコン２は車両個体差やお好みに合わせて、選択したＭＡＰの補正値をロータリースイッチの設定で増減調整する事が出来ます。
設定はロータリースイッチの“５"を弊社セッティングの標準値とし、４・３・２・１と数値が少ない設定にするほど燃料噴射量をより減量する方向になります。
６・７・８・９・Ａ・Ｂ・・・Ｆと数値が多い設定にするほど燃料噴射量をより増量する方向になります。
ただし、“０"は初期設定専用ですので、０ に設定するとエンジンが停止します。

なお、燃料補正の微調整は全回転域を増減しますので、数値を大きく動かすとアイドリングしなくなったり、特定の回転域で段つきを起こしたりする事も考えられます。
特に必要のない限り、標準設定である“５"設定にてご使用下さい。

また調整は、キーＯＦＦ時・エンジンアイドリング中問わず変更可能です。

⚠警告：走行中は危険ですので変更しないで下さい。
重大な事故の原因となります。

●動作確認

⚠警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
⚠注意：下記に記したＬＥＤの点灯パターンと異なる場合は、配線の接続不良や学習設定の不良などが考えられます。本取説末尾のトラブルシューティングの内容に従い、各部の確認を行って下さい。

・選択されているＭＡＰの確認

ＦＩコン２本体のロータリースイッチは、**選択しているＭＡＰの増減微調整量**を示しています。
その為、ロータリースイッチを見ただけでは、現在選択しているＭＡＰが何番であるか判断出来ません。
下記方法で選択されているＭＡＰの番号を確認する事が出来ます。

１．キーＯＦＦの状態で、スロットルを全開位置に保持します。
２．スロットル全開位置を保持したまま、キーをＯＮにします。
３．赤と緑のＬＥＤが同時に点灯し、赤ＬＥＤが３回点滅し、赤・緑ともに消灯します。その後、緑ＬＥＤだけが点滅を開始します。緑ＬＥＤが点滅し始めたらスロットルから手を離して構いません。
４．緑ＬＥＤの点滅回数が選択ＭＡＰ番号を示しています。
点滅回数をカウントし、選択しているＭＡＰを確認して下さい。
５．キーをＯＦＦにします。
なお、緑ＬＥＤ点滅中はスターターを回してもエンジン始動出来ません。一旦キーをＯＦＦにしてからエンジン始動を行って下さい。

・動作確認

１．ＦＩコン２のＬＥＤを目視しながらキーをＯＮにします。
赤と緑のＬＥＤが同時に点灯し、赤ＬＥＤが３回点滅し、赤・緑ともに消灯します。
２．エンジンを始動後、正常にＦＩコン２が動作していれば緑ＬＥＤが点灯します。
また、エンジン回転数が純正レブリミット回転数を超えている間は赤ＬＥＤも点灯します。

●外装部品などの復旧

ＦＩコン２の動作確認が終わりましたら、配線類の挟み込みなどに注意し、取り外した外装類を元通り復旧します。

⚠注意：必ずサービスマニュアルに規定された締め付けトルクを守る事。

●ラバーキャップとパネルについて

・ＦＩコン２のセッティングを行う際に、ロータリースイッチを回す時のみラバーキャップを取り外して下さい。

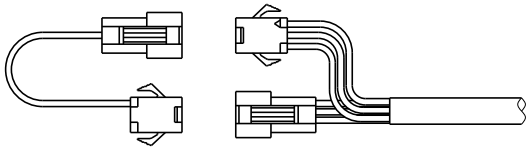
⚠注意：ラバーキャップ無しで走行すると、埃や水などが浸入しＦＩコン２が故障する原因となります。
走行時は必ずラバーキャップを取り付けるか、後述のパネルを取り付けて走行して下さい。

・セッティングの必要が無くなれば、ＦＩコン２に出荷時に貼り付けてあるスイッチ部分が開いているパネルを剥がし、キット付属のスイッチ部分が透明の物に張り替えて頂く事で、防塵・防滴性能が向上し、無用のトラブルを防ぐ効果があります。

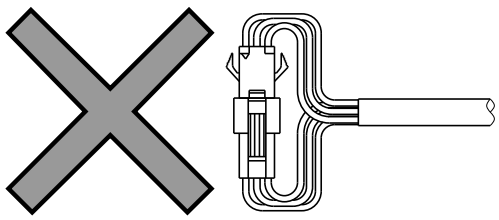
⚠注意：パネルを貼り付ける際は、ＦＩコン２上面の８角の凹面内に、正確に貼り付けて下さい。
凹面からずれて淵部分にパネルが乗り上げてしまうと、隙間から埃や水などが浸入し、ＦＩコン２が故障する原因となります。

●レストアハーネスＣｏｍｐ.について

ハーネスＣｏｍｐ.の３Ｐコネクタに、ＦＩコン２を接続する代わりに付属のレストアハーネスＣｏｍｐ.を接続すると、外装類を外さなくても簡単に純正ＥＣＵでの燃料噴射制御に戻す事が出来ます。
ＦＩコン２をご使用になる場合は、常時携行しておいて下さい。



⚠注意：ハーネスＣｏｍｐ.の３Ｐコネクタ同士を直接接続しないで下さい。純正ＥＣＵ破損の原因となります。



●エンジン仕様別　ＭＡＰ選択表

・下記セッティング表は、全て弊社製パーツを装着した場合の表となります。
・エンジン仕様に合わせたＳＷ番号を初期設定時に学習させて下さい。
・あくまで弊社でテストを行ったセッティングですので、車両個体差や外気温や標高、ライダーの体重などの外的要因により、必ずしもベストセッティングではない場合がありますので、予めご了承下さい

ＳＷ	エンジン仕様
0	－
1	ノーマルピストン ＋ ハイカム ＋ ノーマルマフラー
2	ノーマルピストン ＋ ハイカム ＋ スリップオン
3	ノーマルピストン ＋ ハイカム ＋ フルエキ
4	ｅステージ ＋ ノーマルカムシャフト ＋ ノーマルマフラー
5	ｅステージ ＋ ノーマルカムシャフト ＋ スリップオン
6	ｅステージ ＋ ノーマルカムシャフト ＋ フルエキ
7	ｅステージ ＋ ハイカム ＋ ノーマルマフラー
8	ｅステージ ＋ ハイカム ＋ スリップオン
9	ｅステージ ＋ ハイカム ＋ フルエキ
A	Ｓステージ ＋ ノーマルカムシャフト ＋ ノーマルマフラー
B	Ｓステージ ＋ ノーマルカムシャフト ＋ スリップオン
C	Ｓステージ ＋ ノーマルカムシャフト ＋ フルエキ
D	Ｓステージ ＋ ハイカム ＋ ノーマルマフラー
E	Ｓステージ ＋ ハイカム ＋ スリップオン
F	Ｓステージ ＋ ハイカム ＋ フルエキ

※上記表で、エンジン仕様が［－］となっているＳＷ番号には、増量データが入っておりませんので設定しないで下さい。

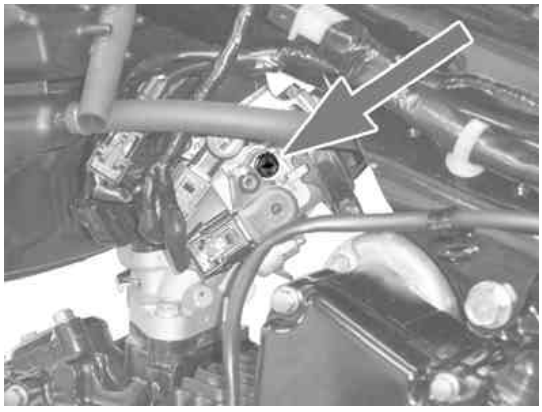
●アイドリング回転数の調整について（参考）

⚠ 注意：ＧＲＯＭ用ＦＩコン２開発時、社内にて弊社製各種エンジンパーツを組合せてセッティングやテストを行っておりますが、その際にアイドリング調整が必要となる事はありませんでした。
従いまして、下記アイドリング回転数の調整は参考資料となります。

本来調整する必要がない部分ですので、不必要・不適切な調整は却ってエンジン不調の原因となりますので、調整を行われる際は、知識のある方が自己責任に於いて作業を行って下さい。
別途５０ｒｐｍ以下の分解能を備えるタコメーターも調整作業には必要となります。

またキャブレター車と異なり、ＦＩ車のアイドリング回転数は任意に設定できる物ではありません。
メーカー指定のアイドリング回転数：１４００ｒｐｍ　±１００ｒｐｍ　となるように調整を行って下さい。

・エンジンを始動し、２０分間暖気運転します。
・エンジンアイドリング回転数を測定します。
・アイドリング回転数が指定から外れている場合、スロットルボディ左側図中矢印で示したアイドルエアスクリュを回して、指定のアイドリング回転数に調整して下さい。



⚠ 注意：アイドルエアスクリュを回す時は、元の位置に戻せるように純正位置からどれだけ回したかを記録し、一度に１／４回転（９０度）以上回転させない様に少しずつ様子を見ながら調整して下さい。
また、スクリュを調整した後は、１０秒以上アイドリングさせてエンジン回転数が安定してから、再度エンジン回転数を測定して下さい。

●トラブルシューティング

キーＯＮにしても、ＬＥＤが点灯も点滅もしない。	・キルスイッチがＯＦＦになっていないか確認して下さい。 ・ＦＩコン２本体に電源が来ていない事が考えられます。 キーＯＮでハーネスＣｏｍｐ.の３Ｐコネクタ赤コードにバッテリー電圧が掛かっている事を確認して下さい。 ・緑コードの丸アース端子が確実にフレームアースに接続されているか確認して下さい。
キーＯＮにした際、緑と赤のＬＥＤが点灯したままになる。	・スロットルポジション及びＭＡＰ選択の初期設定がされていない状態です。 初期設定を行って下さい。
エンジンが始動しない。	・ハーネスＣｏｍｐ.のコネクタが、確実に接続されているか配線接続を再確認して下さい。 ・取り付けた初回の始動時であれば、ロータリースイッチは“５"になった状態で始動しているか確認して下さい。
キーＯＮにした際、赤ＬＥＤだけが点灯したままになる。	・正常にスロットル開度信号を読み込めていない状態です。黄色コードの接続に問題がないか確認して下さい。 ・メインハーネスには黄色のコードが２本あります。必ず緑／橙コードと、黄／赤コードの間にある黄色のコードに接続して下さい。
エンジン始動後、緑ＬＥＤが点灯しない。	・正常にクランクパルスを読み込めていない状態です。サブコード（青／黄）の接続に問題がないか確認して下さい。
エンジン始動後、緑ＬＥＤが点灯する時としない時がある。	・エンジン始動時にスロットルをあおりながらセルを回すと、このような症状になる場合があります。スロットルをあおらずに、エンジン始動して下さい。
セッティングが合っていないように感じる。	・エンジン仕様に合致したＭＡＰが正しく選択されているか確認して下さい。 ・エンジン運転中はロータリースイッチの設定が、ＭＡＰ番号ではなく、“５"の標準設定になっているか確認して下さい。 ・他社製エンジンパーツを組み合わせると、セッティングが合わず、アイドリング不調やエンストの原因となる場合もあります。
走行中、エンジンチェックランプが点灯する。	・ＦＩコン２の仕様上、純正O_2センサカプラの接続を外して使用する事になりますが、純正ＥＣＵがO_2センサ異常としてエンジンチェックランプが点灯する事があります。点灯してもセッティングや作動状況に変化はありませんので、そのままご使用下さい。 なお、エンジン再始動によりエンジンチェックランプの点灯は消えます。 但し、頻繁に点灯する場合はO_2センサ異常以外の可能性がありますので、各部点検を行って下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp